

◆ 会長メッセージ

全日本弓道連盟が公益財団に移行して、少しずつ、会議の持ち方を始め、何となく何かが変わっていているように感じられるところです。

審査会なども、地連間格差が話題になっております。先日、各地連へ調査依頼が来ておりました。今後、具体的な方針が提示されたら、奈弓連もそれに対応した、対策を考えていきたいと思えます。

審査は弓道を修練するものにとって、修練の過程における目標として、それぞれの励みとなるべく、公明正大でなければなりません。先日の審査員研修会でも、審査にあたって、公明正大な審査を実施するよう確認しあったところです。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

◆全日本弓道選手権大会 奈良県予選会

日 時：平成24年6月3日（日）

会 場：橿原公苑弓道場

競技内容：近的6射（採点制）

参加人数：【男子】20人、【女子】14人

大会結果：【最高得点者】西中 正（五條）306点

選考会結果 全日本弓道選手権大会出場選手

【男子】西中 正（五條）、西浦範光（石打）

【女子】東中千佳（橿原）、野尻祥枝（奈良）

全日本弓道選手権大会 奈良県予選会に参加して

6月3日に行われた全日本弓道選手権大会奈良予選会に参加しました。この大会に参加させて頂くのは今回で2回目。昨年にも経験した“ピリッ”とした空気。そんな雰囲気の中試合は行われました。朝、受付をしていて「今年は五段の方の参加が少ないなあ」と感じました。競技は、一手3回。最初の一手は[審査の間合い]で採点制、残りの一手2回は[競技の間合い]で行われました。

1回目。今、出来る事を頑張ろう！特に“会”を頑張ろう！と頭の中で繰り返し・・・甲矢○「おおっ！」と自分でも気持ちよく離れてびっくり！でも会は・・・乙矢×「前のいい矢を追いかけないように、一本一本丁寧に」と言い聞かせたけれど、心のどこかで追いかけてしまった・・・と反省。2回目。手が震えてました。引き終わっても震えは止まらず・・・3回目。○○でも会は短し・・・そして試合終了。

選考の結果、初めて県代表として選んで頂きました。前回は近畿予選枠で選んで頂き貴重な経験をさせて頂きました。今回は県代表として貴重な経験をさせて頂きます。「全く想像がつかない緊張感の中で引くんだらなあ」としか今は考えられません。でも、だんだんと県代表という重みを感じてくると思います。その重みに負けないように《中央道場で一本でも自分の弓が引けるように》を目標にして本大会まで修練します。今までに“経験した事のない場”に行ってきます。そして、いろんな事を吸収していきたいと思えます。

橿原支部 東中

◆平成24年度 近畿地区指導者講習会

平成24年5月19日（土）・20日（日）

主任講師 魚住一郎 範士八段（愛知県）

講師 宮内道廣 範士八段（三重県）

受講生 近畿2府4県からの34名

会場 滋賀県立武道館弓道場

日弓連から新しい伝達事項や変更事項はではなく、「教本に書かれてあることを基本どおりきっちり行なえるようになること」を目的に2日間学んできました。同時に日々稽古をすることが指導者にとっていかに大切であるかとも再認識しました。

研修の内容は、①基本体の研修、②射技研修、③射礼研修、④指導者の役割と責務、⑤弓道の指導法でした。④と⑤は講話で、他はほとんどが実習と見とり稽古でした。講師の先生方は大変熱心で、ご自身が蓄積されてこられた知識、経験を数多く披露してくださいました。詳細は伝達講習会にてお伝えしますが、特に印象に残った内容・言葉をいくつか簡単に紹介します。

■ 教本の基本を正しく行なう

「自分を律し、厳しさに耐えるという日本文化を考えてみる。厳しく律しながらするのが修練。」

「射術だけでなく、体配を疎かにしない。これが射品・射格の形成に繋がる。例えば、歩く姿勢が弓であり、弓をひいているのが体配である。」

■ 基本体（体配の留意点）

道場に入ると、①腰と背中から気を離さない。動作は体の中心から行なう。気持ちが先にあつて動く、②動作は緩急緩で行なう。息を吐いて、背筋を伸ばしてから次の動作に移る、③余分な動作はしない。背筋を伸ばすと余分な動作をしなくなる。コチャコチャ動くと、美を損ね、他の人と揃わなくなる。

■ 射技

「離れ一残身に最大の力が働くように。」「会は折り返し地点でそこからのほうが力、気力ともに働かせていく。」という話は特に印象に残りました。私は大三、引き分けが半ばぐらいに感じて、最大が会、離れと思っていたようで、そのことが原因で離れて縮んだり、別の力で離したりするのかなと反省しました。

私は今回、県外講習会に初めて参加し、期間中、緊張の連続でした。講話での1時間の正座、基本体の実習などの後では、日ごろ怠けていたせいか、足はパンパンになり、階段の下りは辛いものでした。講師の先生方から多くのことを教えていただきました。自分の無知が恥ずかしくなりましたが、これをスタートに学んでいきたいと思えます。この機会を与えていただいたことに感謝しています。そして研修したことを近々開催される伝達講習会をはじめ、

色々な機会の皆様にお伝えしたく思っています。
(指導部 野尻祥枝)



◆平成24年度全国高等学校総合体育大会

兼第57回全国高等学校弓道大会

兼第20回近畿高等学校弓道選抜大会奈良県予選

○個人1次予選 6月2日(土) 橿原公苑弓道場
参加者 男子253名 女子227名 各自4射 3中以上予選通過 1次予選通過者 男子37名 女子20名

○個人・団体2次予選 6月10日(日) 橿原公苑弓道場
個人準決勝 3/4中以上 男子12名 女子1名 通過

※ 個人決勝戦 射詰競射

- 男子 1位 西村 友佑 (郡山)
2位 相原 卓弥 (畝傍)
3位 栗谷 堅太 (奈良北)
4位 徳永 明飛 (高田商)
5位 中嶋 優隆 (平城)
6位 松谷 康平 (法隆寺国際)

- 女子 1位 高松 愛美 (高田商)
2位 園田 梓 (橿原)
3位 寺下 萌子 (法隆寺国際)
4位 砂川 夏絵 (桜井)
5位 木場 皐 (平城)
6位 佐藤 瞳 (高田商)
(2~6位は準決勝4射2中から決定)

※ 団体決勝リーグ戦

- 男子 1位 高田商業高校 5勝0敗 79中
徳永・田中・大古・戸井・福岡・當麻
2位 畝傍高校 4勝1敗 76中
倉角・竹岡・藪野・東沢・相原・上田
3位 郡山高校 3勝2敗 66中
西村・六車・福井・平井・田尻・西中

- 女子 1位 高田商業高校 4勝1敗 68中
弥富・前田・平松・佐藤・高松・南方
2位 畝傍高校 4勝1敗 49中
喜多・辰巳・梶原・小林・大辻・西岡
3位 平城高校 3勝2敗 52中
山床・下村・木場・西岡・片山・浦

※ 技能優秀者 男子 田中 智 (高田商)
女子 前田 知明 (高田商)
(高体連)

◆祝 香芝中学校弓道部女子

「弓道交流演武会(パリ)」に出場

7月23日 国際弓道連盟主催、「弓道交流演武会(パリ)」で中学生による弓道の演武が行われます。...

◆H24年度 国体最終選考会 結果

(6月17日 橿原公苑弓道場)



- 少年男子: 三木理史(王寺工業) 福岡良剛(高田商業)
田中智 (高田商業) 杉井邦彦(王寺工業)
小西健太郎(橿原高)
少年女子: 南方由紀(高田商業) 高松愛美(高田商業)
前田知明(高田商業) 園田 梓(橿原高)
中西珠美(五條高)
成年男子: 辻本元威(香芝) 原田祐介(橿原)
山口亮二(奈良) 補欠 新子修平(五條)
成年女子: 東中千佳(橿原) 林 秀子(橿原)
白井礼子(弓道教室) 補欠 小野温美(橿原)

◆〈指導部からのお知らせ〉

平成24年度「スポーツ指導員講習会」の開催!

一昨年度に続き、今年度もスポーツ指導員講習会を開催いたします。

第1回目は、6月10日(日) 奈良市弓道場において、第2回伝達講習会と兼ねて実施しました。...

ただし、式段以上の方に限定させていただきます。

- 第1回目 6月10日(日) 奈良市弓道場
第2回目 7月22日(日) 奈良市弓道場
第3回目 9月9日(日) 奈良市弓道場
第4回目 9月16日(日) 奈良市弓道場
第5回目 10月28日(日) 橿原公苑弓道場
第6回目 11月25日(日) 奈良市弓道場

※ 時間は全て 9:00~16:30 です

◆支部便り

【大和郡山市】第62回市民体育大会

5月13日(日)、総勢67人の方々の参加を得、第62回大和郡山市市民体育大会弓道の部が、やまと郡山城ホールの弓道場で開催されました。お城まつり大会とは異なり、県体の代表選手選考会を兼ねた純然とした的中制の大会ですが、支部会員の技術的成長も見られることから、今後は矢数の増加や遠的競技の導入なども検討していきたいと思ひます。

今大会の結果は以下の通りです。

○青年の部

- 優勝 多田明世 (郡山高校)
- 二位 福井健太 (郡山高校)
- 三位 柳田千晶 (郡山高校)

○一般の部

- 優勝 佐藤 峻 (大和郡山市弓道協会)
- 二位 岡本拓巳 (奈良工業高等専門学校)
- 三位 堀部亜侑 (大和郡山市弓道協会)

(小林宏樹)

【蒼穹会】平成24年度香芝市選手権大会

平成24年5月13日(日)香芝市立香芝中学校弓道場において「平成24年度香芝市選手権大会」が開催されました。当日は中学校男女47名、一般男女21名が穏やかな天候の中で四つ矢3回の12射による競技が行われました。

各部門の順位決定のために行われた競技のうち、中学校女子の部の1・2・3位決定戦では5本目まで誰も抜くことなく、6本目に1人が抜き、7本目で優勝が決定しました。書けば一言で済んでしまひますが、見ている大人でさえも肩に力が入り、まさに「息を呑む」競技が繰り広げられました。

試合後の竹村先生の講評の中にも「大人は中学生に教わってください」とおっしゃられていたのはとても印象的でした。本当に、いい勉強(見取り稽古)をさせていただきました。

成績及び表彰者は以下の通りです。

- 中学生男子の部 優勝 上山友暉 (11中)、
二位 藤山亨紀 (9中)、
三位 平田真悟 (7中)
- 中学生女子の部 優勝 弥富舞羽 (10中)、
二位 上田春菜 (10中)、
三位 倉田茂枝 (10中)
- 一般男子の部 優勝 乾光孝 (11中)、
二位 竹岡滉貴 (10中)、
三位 倉角哲也 (10中)
- 一般女子の部 優勝 葛井麻衣 (9中)、
二位 白井礼子 (8中)、
三位 山崎遥 (7中) (牧浦信恵)

【布目支部】第18回布目弓道大会

6月2日 布目弓道場英明館にて

参加者 弓道教室 5名 一般77名

技能最優秀賞 山口亮二

技能優秀賞 松澤和実 林秀子

弓道教室の部

一般の部

優勝 福留涼香

優勝 山口亮二

二位 岡沼智子

二位 新子修平

三位 田中弥生

三位 林秀子

布目弓道大会に参加して

今年で18回目を迎えた布目大会、この大会では毎年、色々な事を感じる1日になります。

まずは道場について。

私は第3回大会の時に初めて訪れましたが、英明館は当時と比べて古びていくどころか、年々きれいになっているように感じます。

これは、道場内はもちろん、安土・矢道・フェンス周辺の植物に至るまで、吉本先生や奥様をはじめ、利用される方々の丁寧なお手入れがあつての事だと思ひます。

次に感じるのが、この日独特の“一体感”です。

大会中だけでなく、後片付けや茶話会までを通して、運営側、演武する側、応援や見取り稽古をする人、全てがひとつになっている感じがするのです。こんな大会はなかなかありません。

そして、“なかなか無い”といへば…、技能最優秀賞を頂くと、吉本先生の「全日本選手権 優勝カップ」を1年間お預かりするという大役を務められる事です。名誉なことです。

布目大会は、得点制・採点制・的中制の競技方法があり、来年は英明館創立20周年という節目の年です。まだ参加した事のない方は、この機会にチャレンジしてみたいかでしょうか？ (山口亮二)

編集後記

今月号へはたくさん寄稿いただき、感謝いたします。次号に向けて更なる寄稿をお願いします。連盟HPをご覧の県民の方から、各支部での初心者教室の様子が知りたいとのご要望がありました。各支部の皆さんよろしく。今回寄稿いただきました「第2回伝達講習会兼第1回スポーツ指導員講習会」については紙面の関係から次号に送らせていただきます。お許し下さい。(土谷)